

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム No.16 紙を漉く
No.18 木工クラフト体験

学校名 須崎市立新荘小学校

学年 3年生、4年生

児童数 9名

実施場所 甫喜ヶ峰森林公園作業教室

目標

- ・地域の自然豊かな環境について、子どもたちに興味関心を抱かせ、新荘川やその上流域の森林の働きに目を向けさせ、郷土を愛する心を育む。
- ・地域の自然を愛し、守る心を持ち、今の自分たちでできる環境美化や保護活動など実践力のある子どもたちを育てる。

実施教科 総合的な学習の時間

関連教科 国語科（作文）、社会科（くらしを支える水（水源を守る）、理科（季節と生き物）

※社会科では、水源を守るという学習の中で「森林の働き」について学ぶ。また、理科では、1年を通して季節毎に、身の周りの植物や昆虫・鳥などを観察するなどして生き物と季節との関係を考える。

持ち物 首からぶら下げる観察ボード、筆記用具

実施項目 壁掛けづくり

対象プログラム No.18 木工クラフト体験

所要時間 40分程度

実施内容 ヒノキの間伐材で作った A4 サイズのプレートに、好みの自然素材を木工用ボンドやグルーガンを使って装飾し、フォトフレームを作った。自然素材は、ヒノキ、サザンカ、マテバシイ、ヤシャブシ、シナサワグルミ、コメツガの木のみ、ヒサカキの木の枝を用いた。見本はなく、児童は自由な発想で飾りつけすることにより、それぞれに個性豊かな創作ができた。完成した作品は、後日、講師により学校に届けられた。

作業風景



実施項目	紙漉き（ハガキづくり）
対象プログラム	No.16 紙を漉く
所要時間	30分程度
実施内容	コウゾ、ミツマタ、パルプの3種類の紙漉き原料を用いて、紙漉き（ハガキづくり）体験をした。はじめに、紙漉き木枠の中にメッシュのプレートを置き、原料をメッシュの上に均等になるように掬い取った。漉いた原料をメッシュごと木枠から取り出し、タオルに置いて水分を吸い取る。カエデやイチョウなどの好みの葉を原料に飾りつけ、さらに原料を薄く重ねて、再度、水分を吸い取り、メッシュを外して乾燥させた。児童1名が3種類の原料ごとに紙漉きし、ハガキの原型を作成した。完成した作品は、後日、講師により学校に届けられた。

作業風景



補足 その他、プログラムの 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・2つのプログラムを同日の午前中に実施。自然素材を用いた体験メニューとしてコンパクトにまとめられている。材料や素材などはすべて用意されており、児童が準備するものはほとんどなかった。観察ボードには木の実や素材の名称を記録していた。
------------------------	--